秋です スポーツしてみますか

市民ハイキング

（☎22－0916）へ

□とき…十月十八日(日)の午前八時三十分までに一中正門前に集合
□行先…菩提寺山（金津、白玉の滝から）
□対象…一般市民
□参加料…五百円（保険料、その他）
□持ちもの…昼食、水筒、雨具など（昼食時にはお汁を用意しています。）
□服装…ハイキングに適したズボン、運動靴などの軽装
□申込み…十月十三日までに参加料を添えて社会体育課

市民サッカー大会

□とき…十月十八日(日)の午前八時三十分から(小雨決行)
□ところ…新津工高
□対象…市内在住または在勤、在学の中学生、高校生および社会人(一チーム十五名以内)
□参加料…一チーム千円
□申込み…十月九日までに参加料を添えて社会体育課（☎22－0916）へ

市民マラソン大会

□とき…十月十八日(日)の午前九時から(小雨決行)
□ところ…市民会館前
□対象…小、中、高校一般、壮年男子(三十五歳以上)
□内容…男女別で三㌔、六㌔、十二㌔
□参加料…一人二百円
□申込み…十月十二日までに参加料を添えて社会体育課（☎22－0916）へ

市民卓球大会

□とき…十月二十五日(日)の午前八時三十分から受付け
□ところ…市民会館大ホール
□内容…個人戦とダブルス戦（小学生男子・女子、中学生男子・女子、高校一般男子・女子）
□参加料…個人戦三百円、ダブルス戦一組三百円
□申込み…十月二十三日までに社会体育課（☎22－0916）または卓球連盟事務局（本町二、横野スポーツ店内☎22－0509）へ

市民六人制バレーボール大会

□とき…十月二十五日(日)の午前九時から
□ところ…三小
□対象…市内に居住または勤務する人(高校生は除く)
□内容…一般男・女別で一チーム十二名以内
□申込み…十月十七日までに所定の申込書（社会体育課に用意してあります）で社会体育課（☎22－0916）へ

ゲートボール大会

□とき…十月二十七日(火)の午前八時集合
□ところ…東部運動広場
□対象…一般市民（一チーム八名以内で、年齢制限なし）
□参加料…一チーム三百円
□申込み…十月十三日までに参加料を添えて社会体育課（☎22－0916）または剣道連盟事務局（本町三、柴田商店内☎22－2396）へ

市民剣道大会

□とき…十一月一日(日)の午前八時集合
□ところ…市民武道館
□対象…一般市民
□種別…小学三・四年、小学五・六年、小学生女子、中学一年男子、中学一年女子、中学二・三年男子、中学二・三年女子、一般高校男子、一般高校女子
□申込み…十月二十日までに社会体育課（☎22－0916）または剣道連盟事務局（本町三、柴田商店内☎22－2396）へ

金津保育所で行われた救急医療講習会

救急医療を熱心に勉強

9月9日から15日までは、救急医療週間でしたが、期間中の11日、金津保育所で救急医療講習会が行われ、約50人の人が参加しました。救急の現状についての話の後、人工呼吸と心臓マッサージの指導を受けたほか、人形を使った練習では、自分が納得するまで熱心に繰り返していました。

スポーツ大会結果のお知らせ

119人が参加した弓道大会

市民バドミントン大会
九月十五日　市民会館
Aクラス…①高橋義文・田村功組(新津羽球連盟)　Bクラス…①田中裕子・古石昭男組(自根羽球連盟)　Cクラス…①中村瑞恵・荒井真実組(白根一中)　小学生クラス…①秋山香里・大野明美組(市之瀬小)

市民弓道大会
九月十五日　市民武道館
一般男子…①鈴木博(本町四)　一般女子…①小林ひとみ(新栄町)　高校男子…①本間義明(新津工高)　高校女子…①佐藤博子(新津高)

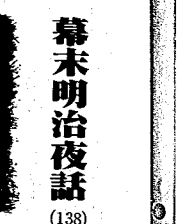
市民軟式庭球大会
九月二十日　東町庭球場
男子Aクラス…①沢田明彦・細田良夫組(秋陵クラブ)
男子Bクラス…①長谷川勇・長谷川浩一組(一般)　女子…①渡辺清栄・稲垣栄子組(新津クラブ)　中学男子…①南沢智成・中村拓也組(一中)　中学女子…①田中由美子・上田友美組(小合中)
(以上敬称略)

お買物、ご用命は市内で

リオネット補聴器
相談コーナー！
毎週火曜日午前11時から正午まで
リネン(株)より専門係員が来店します。
メガネの 野本
新津市本町3丁目(時計店となり) ☎22-2556(代)

朝9時30分までの受付は当日上がり
高級衣類のお手入れは……
マルヤクリーニング 持込2 3割引 ☎22-0739
正しいクリーニングと保存は
衣類の本当の節約

幕末明治夜話 (138)



四十一年目の敵討(I)

阿達義雄

敵討ち直後の処置

安政四年十月九日、久米幸太郎が板倉貞次を後見として、祝田浜で亡父の敵滝沢休右衛門を討ち果たすと、直ちに西潟義助をして祝田村役場に告げさせ、又、清野留平太をして幕府允許の写し、並びに藩公から賜わった允許状を添えて届けさせた。

祝田浜の報が石巻御陣屋に達すると、その指示によって幸太郎と貞次は祝田村の阿部屋佐兵衛へ御用宿を命ぜられ、その他の者は渡の波の旅籠屋後藤与治右衛門方に止宿して其の筋の御指示を待った。

なお、清野留平太は、その附人西潟義助を新発田に赴かせ、事の次第を藩庁に注進させたので、その報が十八日に新発田に届くと、城下は喜びで沸き返るようであった。

仙台城下からは、検使として御徒士目附の南館盛、武田平兵衛の両人が十月十三日に到着、直ちに滝沢休右衛門の死骸を検べると共に、関係者についても一応取り調べ、十五日に仙台へ引揚げた。

当時、仙台公は江戸御在府であったから、廿四日、飛脚を以て上聴に達し、一方新発田へも飛脚を以て仰せ遣わされた。

黙昭（滝沢）の屍体検視

敵討と言っても、要するに殺害事件である。したがって仙台藩に於ては、関係者を、一応、丁重に検束し、取調べの上、新発田藩の役人に引渡したのであるが、久米事件の場合、現場は仙台領、殺害者は新発田藩の者であるから、両藩の交渉に多くの回数を要し、新発田藩の関係者が仙台藩から正式に引渡されたのは、事件後、四十日以上も経った十一月廿日であった。

したがって、黙昭の死体検視も、先ず仙台藩の検使によって十月十三日に行われ、仙台藩新発田藩の両藩の検使が立会いの下に検べたのは十一月の廿日であった。

そのため、その間の黙昭の屍体は、塩二俵で包んで假埋葬し、その腐敗を防止したのであった。

新発田では、十月廿一日、御受取旁々御検使として、物頭郡奉行(三百五十石)の宮北勇五郎が御役を仰せつけられて出発し、之に従う者は上下都合廿九人であった。

十一月二日、宮北勇五郎等は仙台に到着、国分町の旅籠福田屋与八郎方に止宿した。

十一月六日、仙台藩の御検使、南館、武田の両人は福田屋に来り、「仙台藩では江戸表迄飛脚を遣り、藩主に申し上げてあり、それと共に新発田へも報告したが、両方共未だ飛脚が帰らないので、その帰る迄逗留されたい」とのことであった。

十一月十八日早朝、宮北等は仙台を出発し、途中に一泊、十九日に祝田村の手前の渡の波に到着し、廿日五ツ時から仙台藩新発田藩双方の検使が塩漬にされていた黙昭の死骸を取り検べることになった。

仙台藩検使の南館盛殿、武田平兵衛殿は予め検屍の場所での手配があるので一足先に出かけた。

引続いて新発田藩の者は、屍体仮埋めの場所――祝田浜の人家から五六町程、山手で金華山への往来脇――へ行った処、仙台藩の検使は、警固の御足軽や地元村役人と共にその場に先着して待っていた。

黙昭(休右衛門)の死骸は、長さ三尺位、高さ一尺余、横一尺五六寸位の野箱に入れられたまま、掘出されてあった。

暫くしてから仙台藩の検使は、①自動車　②少年非行の防止　③覚せい剤などの薬物乱用の防止　④悪質商法による被害の防止です。

全国一斉に防犯運動が行われます
十月十一日～二十日

次のことに注意しましょう。
●駐車車両には、必ずドアロックをかけを忘れずに。
●留守にするときは、カギ

十月十一日から二十日までは、全国一斉に防犯運動が行われます。運動の重点は、①自動車盗、侵入盗などの盗犯の防止　②少年非行の防止　③覚せい剤などの薬物乱用の防止　④悪質商法による被害の防止です。

二人が立ち会い、野箱の蓋を取らせ、死骸を検分した処、黙昭は殺された時の衣類を其儘着せられ、塩漬にされていたので、その衣類や塩などを取り除けて、面体をよく見改めた上、刀による切り口を改めてみたら、左から右乳の方へかけ、前後長さ八寸位、それに咽の止め一ケ所あり、その外、身体に疵つけられた所はなかった。

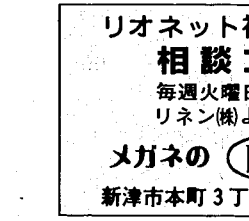
念のために、新発田の年長の小頭、石山長作にその面体をよく見届けさせたら、「休右衛門に間違いありません」と申したので、そのことを仙台藩の検使に伝えると、「新発田藩の者が休右衛門に相違ない」と申すからには、その死骸を新発田藩に引渡すことになるとのこと。

それから帰りがけに「久米殿が休右衛門を討ち果たされた場所の検分を済ました。

死骸の取り捨て方は新発田藩の郡廻り青木郡兵衛へ申し付け、盛次郎、留六郎や警固の御足軽共は其場に残し、一ト先ず暇乞の挨拶をして銘々の旅宿に引き揚げたのであった。

ところが、間もなく郡兵衛も引揚げて、後から到着した盛次郎殿、留六郎殿にも仇の死骸をよくよく見届けさせた上、警固の御足軽が祝田の御用宿迄附添って送り届け、仇の死骸については、狐崎組、大肝煎の平塚源兵衛に取り捨てくれるように依頼して(谷川浜洞福寺墓所へ取り捨てるべきであったが、同所迄は五里余りもあるので、取りあえず其場に仮埋めにして)、引揚げたのであった。

(新潟大学名誉教授)

お買物、ご用命は市内で

畳替え、匂うい草の心地良さ
●新畳(1帖) 10,000円　●表替(1帖) 6,000円
※以上は私共が自信を持っておすすめする品です。
■お問い合せ、ご注文はお近くの畳店、または下記へ
新津畳協同組合 ☎ 22－7923